

第 2 次

概要版

山武市総合計画

2019年度 ▶ 2022年度



山武市マスコットキャラクター
SUNムシくん

ごあいさつ

このたび、市のまちづくりの普遍的な方向性を示す「基本構想」とともに、中期的なまちづくりに関する政策を体系的にまとめた「第2次山武市総合計画」を策定いたしました。

本市は、太平洋から下総台地まで東西に長く、県内でも有数の豊かな自然環境に恵まれ、都心からも近い良好な立地にあります。しかしながら、少子高齢化の進展により、いまだ経験したことのない超高齢化社会が到来し、市の置かれた状況は、今後もさらに厳しいものになると予想されます。

こうした中では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催も控えており、第3滑走路の整備をはじめとする成田空港の機能強化、大栄JCT－松尾横芝IC間の圏央道整備も進められております。このような変化をチャンスとして捉え、市全体を上げて積極的に取り組んでいくことで、「まちの魅力」に磨きをかけることができると考えております。

まちづくりは、市民、議会、行政が一体となって取り組み、次世代に誇れる社会を実現することが求められています。山武市のポテンシャルを活かしていくため、今回の計画では、新たに「重点分野」を掲載し、このまちに関わる全員がまちづくりに主体的に参加できる土壌づくりに努めてまいります。

本計画の策定にあたりまして、ご審議いただきました山武市総合計画審議会委員の方々をはじめご協力いただきました市民の皆様にご心より御礼申し上げます。

市民の皆様方とまちづくりの思いを共有しながら、ともに計画の実現に向けて取り組み、「海と緑、人が集い、住まう誇りがもてるまち 山武」を目指してまいります。

平成31年3月

山武市長

松下 浩明



基本構想

山武市は、太平洋の青い水平線と白い砂浜のコントラストが美しい九十九里浜、そしてその後背地に広がる田園地帯、森林を有する丘陵地帯で構成された自然環境に恵まれた都市であり、**海岸、田園、丘陵という豊かな自然環境を活かしたまちづくり**を進めます。

日本有数の国際空港である成田国際空港に近接するとともに、市域には首都圏中央連絡自動車道（圏央道）が走っています。今後、成田国際空港は更なる機能強化が図られ、圏央道も2024年の全線開通を視野に事業が進んでいます。地域づくりを大きく左右する、**成田国際空港と圏央道ネットワークを意識したまちづくり**を進めます。

市の高齢化率も3割を超え、日本全体の傾向と同様に、人口減少が進んでいます。人口維持のためには、市民が暮らしやすく住み続けられる環境を確保するとともに、市外の方が魅力に思い、訪れ、住まう価値を創造していくことが必要です。同時に、市民の安心安全を確保しながら、人口減少に対応した行政運営も求められています。そのため、**将来に渡って持続可能で魅力あるまちづくり**を進めます。

基本構想の状況を示すまちづくり指標

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| ① 山武市の人口 (52,222人) | ② 合計特殊出生率 (0.91) |
| ③ 社会人口増減数 (▲151人) | ④ 納税者1人当たり所得 (268万円) |
| ⑤ 地域経済循環率 (66.1%) | ⑥ 市内・近隣団体への通学・通勤割合 (73.5%) |
| ⑦ 山武市の認知度 (919位) | ⑧ 山武市が住み良いと思う市民割合 (75.4%) |

政策 1 暮らしを支える快適なまちづくり [都市基盤の整備]

施策 1-1 地域核をネットワークする都市整備の推進

指標名	現状値	めざそう値
都市施設（道路、公園、排水路、駅周辺）の満足度	53.4%	54.0%

めざす姿 地域核の拠点機能及びネットワークが形成され、利便性が向上します。

基本事業名
1. 道路網の整備・維持管理 (重点)
2. 成田空港周辺地域としての基盤整備 (重点)
3. 浸水対策の推進
4. 駅周辺の利便性の向上 (重点)
5. 公園の適正な管理
6. まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用 (重点)

施策 1-2 公共交通網の整備・充実

指標名	現状値	めざそう値
公共交通網の満足度	41.3%	45.0%

めざす姿 公共交通網が充実し、市民生活における移動の利便性が高まります。

基本事業名
1. 市内における交通手段の確保 (重点)
2. バスでの主要都市へのアクセス向上
3. 鉄道の利便性向上

施策 1-3 防災・減災対策の推進

指標名	現状値	めざそう値
災害被災戸数（火災含む）	59 戸	50 戸

めざす姿 市民の防災意識が高まり、地域の防災力が向上し、災害の被害が少なくなります。

基本事業名
1. 地域防災力の向上
2. 災害支援体制の確立
3. 防災意識の向上
4. 消防力の充実
5. 強靱化対策の推進

政策 2 住みやすい環境と安全なまちづくり [暮らしやすい環境の整備]

施策 2-1 生活環境の充実

指標名	現状値	めざそう値
快適な生活環境が整っていると思う市民の割合	67.6%	70.0%
生活環境に関する苦情件数	248 件	248 件
航空機騒音を不快に感じる市民の割合	78.4%	75.0%

めざす姿 市民が快適に暮らせる生活環境を確保します。

基本事業名
1. 生活公害の対策
2. 美化運動の推進と不法投棄防止対策
3. 航空機騒音等の対策

施策 2-2 廃棄物の減量・処理の適正化

指標名	現状値	めざそう値
1人1日当たりのごみ排出量	719 g	719 g

めざす姿 ごみ排出量が減り、安全に効率的に処理されます。

基本事業名
1. ごみの減量化・再資源化の推進
2. 廃棄物に関する意識の向上と啓発
3. ごみ処理の効率化

施策 2-3 自然環境の保全

指標名	現状値	めざそう値
自然環境の満足度	77.5%	80.0%

めざす姿 市民や企業による自然環境保護の取組や地球に負荷を与えない行動が定着化し、市の豊かな自然環境が保全されています。

基本事業名
1. 自然環境保全活動の推進
2. 自然環境取組意識の向上
3. バイオマスタウン構想の推進
4. 再生可能エネルギー対策の推進
5. 汚水処理の推進



施策 2-4 上水道の充実

指標名	現状値	めざそう値
給水戸数【市営水道】	2,705 戸	2,887 戸
給水戸数【広域水道】	10,885 戸	10,671 戸

めざす姿 市民が安全で安定した水道水を使うことができます。

基本事業名
1. 安定給水の確保
2. 水質の安全性の確保
3. 地震等の災害対策
4. 経営の健全化

施策 2-5 防犯・交通安全の推進

指標名	現状値	めざそう値
人口 1,000 人当たりの刑法犯認知件数	9 件	9 件
人口 1,000 人当たりの交通事故発生件数	2.7 件	2.7 件

めざす姿 安全で安心して住めるまちになっていきます。

基本事業名
1. 防犯体制の充実
2. 児童・生徒の安全確保
3. 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備
4. 消費者トラブルの防止
5. 交通安全意識の向上

政策 3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり 【産業経済の振興】

施策 3-1 農林水産業の振興

指標名	現状値	めざそう値
農業所得	1,393 百万円	1,599 百万円
森林整備年間実施面積（累計）	237.72ha	297.12ha

めざす姿 農業経営が安定し、所得額が増えます。
荒廃した森林が再生します。

基本事業名
1. 経営の安定化の推進
2. 担い手の育成・支援 重点
3. 農地の利用集積の推進
4. 農産物の付加価値向上と販路の拡大
5. 農業基盤整備の推進
6. 森林再生の推進

施策 3-2 商工業の振興と地域経済活性化

指標名	現状値	めざそう値
法人市民税額	349 百万円	297 百万円

めざす姿 市内企業・事業者への継続的な支援を行うことで、地域経済が活性化されます。

基本事業名
1. 市内消費の向上
2. 経営体の体質強化・育成
3. 企業立地と企業定着による雇用の推進 重点
4. 成田空港経済圏の形成 重点

施策 3-3 観光の振興

指標名	現状値	めざそう値
年間観光客入込数	2,030,557 人	2,081,000 人
年間宿泊観光客数	82,019 人	82,800 人

めざす姿 観光客が増加し、市の魅力が高まります。

基本事業名
1. 魅力ある観光事業の推進
2. 海岸を活用した観光推進 重点
3. 観光情報の発信

政策 4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり 【保健・福祉・医療の充実】

施策 4-1 高齢者福祉の充実

指標名	現状値	めざそう値
65 歳から 74 歳までの高齢者で介護認定を受けずに生活している高齢者の割合	96.3%	97.0%
介護保険サービスの満足度	75.6%	77.0%

めざす姿 高齢者が健康を保ちながら生活でき、自分の健康状態にあった福祉サービスを受け、地域生活が過ごせます。

基本事業名
1. 生きがいづくりと介護予防の推進 重点
2. 介護サービス・日常生活の支援
3. 安全・安心な生活への仕組みづくり
4. 介護保険制度の安定的な運用

施策 4-2 障がい者（児）福祉の充実

指標名	現状値	めざそう値
障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合（分母から重度障がい者を除く）	1.52%	2.20%
在宅で生活している障がい者の割合	97.2%	97.4%

めざす姿 障がい者（児）がその障がいの特性及び環境に応じて、地域で安心して自立し、社会参加できます。

基本事業名
1. 自立支援サービスの促進 2. 地域生活支援の基盤づくり 3. 社会活動参加の促進 4. 児童発達支援の充実

施策 4-3 健康づくりの推進

指標名	現状値	めざそう値
健康だと思う市民割合	73.6%	74.0%
生活習慣病死亡率	55.1%	55.0%

めざす姿 健康への意識が高まることにより、生活習慣病が減少し、健康な心身で生活を送り続けられます。

基本事業名
1. 心身の健康管理の充実 2. 健診の受診率向上と生活習慣の改善 3. 母子の健康管理 4. 医療体制の充実 (重点) 5. 国民健康保険医療費の改善

施策 4-4 子育ての支援

指標名	現状値	めざそう値
子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児の保護者の割合	93.0%	93.0%
この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合	94.4%	94.4%

めざす姿 安心して産む・育む等の子育て環境が整っているまちになっています。

基本事業名
1. 幼保機能の充実 (重点) 2. 子育て不安の軽減 3. 子育て家庭への援助 4. こどもの人権の尊重 5. 学童保育の充実 6. 次世代育成による家族形成の支援

施策 4-5 地域福祉の充実とセーフティネットの推進

指標名	現状値	めざそう値
地域で福祉の相互扶助できていると思う市民の割合	19.0%	22.0%
生活保護率	7.61‰	11.19‰

めざす姿 地域で相互扶助できていると思う市民が増加します。市民が経済的に安定した生活が送れます。

基本事業名
1. 地域福祉の担い手育成 2. 社会福祉機関・団体の充実 3. 生活困窮者自立支援の充実 4. 生活保護制度の適正な実施 5. 公営住宅の維持管理

政策 5 生涯を通じて人と人とのふれあい共に学びあえるまちづくり [教育・文化の振興]

施策 5-1 学校教育の充実

指標名	現状値	めざそう値
学校生活に満足している児童の割合	95.2%	95.2%
学校生活に満足している生徒の割合	93.1%	95.0%

めざす姿 学校生活に満足している児童・生徒が増加します。

基本事業名
1. 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進 (重点) 2. 「健やかな体」の育成 3. 「豊かな心」を育む 4. ICT教育の実践 (重点) 5. 教育環境の整備 6. 地域と学校の協力体制の推進

施策 5-2 生涯学習の推進

指標名	現状値	めざそう値
生涯学習に取り組んでいる市民の割合（全般的）	30.8%	33.0%

めざす姿 生涯学習の環境が整い、学習の機会が増加することで、市民の学習への取組が活発化し、自己実現が図られます。

基本事業名
1. 主体的な学習の推進 2. 生涯学習施設の利用促進 3. 文化財の保護・活用 4. 芸術文化活動の充実 5. 青少年の育成



施策 5-3 スポーツの振興

指標名	現状値	めざそう値
スポーツ活動に親しむ市民の割合	27.7%	28.0%

めざす姿 継続的にスポーツを行うことにより、心身ともに健康な生活を営むことができます。

基本事業名
1. スポーツ活動の充実 2. 体育関係団体・指導者の育成 3. 体育施設の利用促進

施策 5-4 人権尊重のまちづくり

指標名	現状値	めざそう値
人権が尊重されているまちだと思う市民の割合	45.7%	48.0%
あらゆる分野で男女が対等に参画していると思う市民の割合	21.8%	25.0%

めざす姿 誰もが基本的人権が守られる地域社会になります。
男女の不公平感が解消され、女性の社会進出の促進が図られます。

基本事業名
1. 人権教育・人権啓発の推進 2. 人権擁護の推進 3. 男女共同参画の推進

政策 6 市民と行政が協働してつくるまちづくり [コミュニティ推進と行財政の効率化]

施策 6-1 協働と交流によるまちづくり

指標名	現状値	めざそう値
市民活動（地域活動）に参加している市民の割合	41.7%	42.0%
NPO・ボランティア活動をしている市民割合	19.0%	20.0%

めざす姿 まちづくりや公共について、市民と行政が共に考え、共に実践していく市民活動が活発に行われています。

基本事業名
1. 区・自治会活動の活性化 2. 市民活動の活性化 (重点) 3. 市民活動施設の利用促進 4. 多文化共生社会の推進 5. 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進

施策 6-2 開かれた市政とまちの魅力発信

指標名	現状値	めざそう値
市政情報の提供の満足度	84.1%	85.0%
多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合	60.2%	65.0%
山武市の特徴や良い点を近隣以外の人に説明できる市民の割合	19.2%	25.0%

めざす姿 市政情報が適切に市民に伝わるとともに、市民の意見が市政に取り入れられています。
市民一人ひとりが「わがまち」に誇りを持ち、市外からも魅力が感じられています。

基本事業名
1. 情報発信力の充実 (重点) 2. 広聴の充実 3. 議会情報の公開の推進

施策 6-3 計画的・効率的な行財政運営

指標名	現状値	めざそう値
施策の目標達成率	29.1%	60.0%

めざす姿 計画的・効率的・効果的な行財政運営が行われています。

基本事業名
1. 行政経営の推進 2. 人材育成と効率的な組織運営 3. 健全な財政運営 (重点) 4. 税収の確保 5. 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進 6. 情報化の推進と適正管理

施策 6-4 公正確実な事務の執行

指標名	現状値	めざそう値
公正確実な事務の執行の満足度	81.9%	82.0%

めざす姿 職員の誰もが、公正で確実な行政サービスを提供できます。

基本事業名
1. 適正な会計処理 2. 積極的な選挙啓発 3. 監査の充実 4. 情報公開及び個人情報保護の推進 5. 窓口サービスの向上 6. 公平・公正な課税

▶ 総合計画の概要

◆ 計画策定の趣旨と計画期間

総合計画とは、よりよい地域づくりのためのさまざまな施策を、バランス良く効率的に進めていくための基本的な指針となるもので、山武市が進むべき方向を明確に示すとともに、それに向かって行うべき政策及び施策を体系化した、山武市における最上位計画です。

総合計画策定については、平成 23（2011）年 5 月 2 日に「地方自治法の一部を改正する法律」が公布され、基本構想の法的な策定義務がなくなり、計画策定及び議会の議決を経るかについては、市の判断に委ねられることになりました。

山武市において、総合計画は従来から総合的かつ計画的な行政の運営を図るための指針であるとともに、市民にまちづくりの長期的な展望を示すものであることから、市としては法的な策定義務がなくとも欠くことができない計画と考え、山武市総合計画条例を根拠として市の政策を定める最上位の計画として、議会の議決を経て山武市総合計画を策定するものです。

なお、本総合計画の計画期間は、平成 31（2019）年度から平成 34（2022）年度の 4 年間とします。

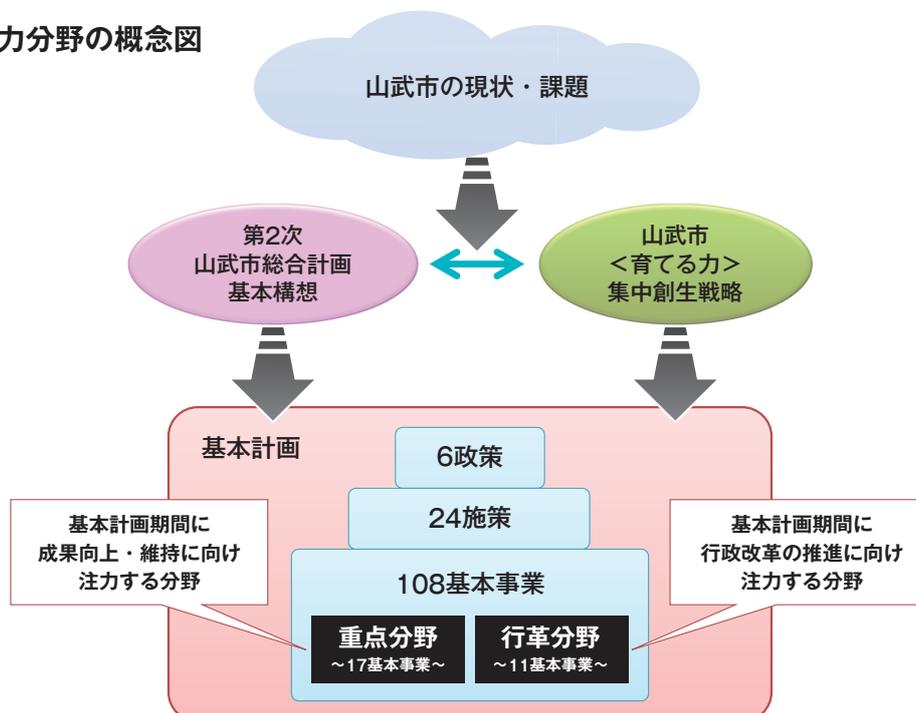
◆ 経営計画としての総合計画

総合計画は、全施策のめざす姿を網羅した最上位計画として位置づけるとともに、『山武市の経営計画』として、【政策実現】、【行政改革】、【健全財政】の 3 側面を兼ね備えた計画とします。

そのため、従前の行政改革大綱の理念は総合計画に引き継ぐものとし、行政改革の取組内容は基本計画の「施策」「基本事業」に位置付けます。

また、平成 27（2015）年度に策定した山武市<育てる力>集中創生戦略（以下「地方創生戦略」という。）は、市の喫緊の課題である人口減少問題に対応し地方創生を成し遂げるため、4 つの基本目標「地域の魅力と誇りの創生」「グローバル人材を育てる力の創生」「出産・子育て支援及び高齢者福祉の担い手を育てる力の創生」「地域経済を育てる力の創生」に取り組むことを位置付けた計画です。地方創生戦略と総合計画は計画目的の多くが重なっているため、総合計画は地方創生戦略と連動させた計画策定を行い、2 つの計画を一体的に推進していくこととします。

◆ 政策体系と注力分野の概念図



市の木・市の花・市の鳥



平成 18 年に、山武市の気候に適しており親しみやすい「市の木」、「市の花」、「市の鳥」を募集したところ 98 点の応募がありました。この応募により件数が多かったものと、旧町村で採用していた「木」「花」「鳥」を加えて4点を選出し、市民アンケートを実施しました。その結果、1,142 件の回答のうち最も多かった「杉」「野菊」「うぐいす」を、それぞれ指定しました。

市章



太陽に映える恵みの大地と太平洋をイメージしました。

山武市の頭文字「山」をモチーフに、未来を拓く新しい風を感じる躍動感に満ちた山武市の姿を表現しています。

市のキャラクター



山武市マスコットキャラクター
SUN ムシくん

『SUN (サン) = 太陽』と『ムシ=テントウムシ』を組み合わせたキャラクターです。

サンサンと輝く太陽 (おてんとうさま) の明るさと、大空に向かって飛び立つテントウムシで、山武市の明るい未来を表現しています。

テントウムシの模様を活かし、SUN ムシくんの頭は、山武市の名産、いちごの形をイメージしています。



山武市経済・産業活性化キャラクター
むーちゃん

いちご・山武杉・海・プールなど、山武市の魅力から生まれたキャラクターです。

いちごの栽培に欠かせないミツバチに似ていると言われるが、虫ではなく妖精。耳のように大きくなった触角で、市民の声や心をキャッチします。お腹の3つの「む」がトレードマーク。正式名は、むーみっつ・ハニー。

山武市は 4 つの宣言をしています。

● 山武市非核平和都市宣言

● 税金を大切に使うまち宣言

まちは、税金でつくられます。

その税金には、市民の汗と努力が込められています。

行政に携わる者は、常にこの事実を認識し、行動することが求められます。

未来の子どもたちの幸せのために、行政と市民は、それぞれの役割を果たし、税金の無駄遣いをなくすことに努めなければなりません。

この取組みが市の財政を健全に保ち、わがまち発展の礎となることを強く確信し、ここに「税金を大切に使うまち」を宣言します。

● 青色申告都市宣言

● 納税推進のまち宣言

山武市は、誰もが幸せを実感できるまちの実現を目指し、市民と行政が一体となって、まちづくりを推進しています。

納税は、市民の義務であり、まちづくりの根幹です。すべての市民が納税を正しく理解し、自主的に納付することで、住み良いまちはつくられます。

納税が市民の福祉を支え、わがまち発展の礎となることを強く確信し、未来の子どもたちの幸せに熱い思いを込めて、ここに滞納のない「納税推進のまち」を宣言します。

第 2 次山武市総合計画
【概要版】

発行年月
発行者

平成 31 (2019) 年 3 月
千葉県山武市
〒 289-1392 千葉県山武市殿台 296 番地
TEL : 0475-80-1132

編集

総務部企画政策課